

[成果情報名]二条大麦「ニシノホシ」の多収条件

[要約]二条大麦「ニシノホシ」の収量は穂数と高い正の相関がある。10a当たり400kg以上の収量を得るためには穂数を概ね580本/㎡以上確保する。

[キーワード]ニシノホシ、収量

[担当]長崎県総合農林試験場・作物園芸部・作物科

[連絡先]電話0957-26-3330、電子メールn-shimoyama@pref.nagasaki.lg.jp

[区分]農産

[分類]指導

[背景・ねらい]

壱岐地域では、平成14年から、焼酎醸造適性の優れる二条大麦「ニシノホシ」の栽培について取り組みを開始したが、安定生産のための栽培技術が確立されていない。そこで、高品質・安定生産のため、多収要因を解析する。

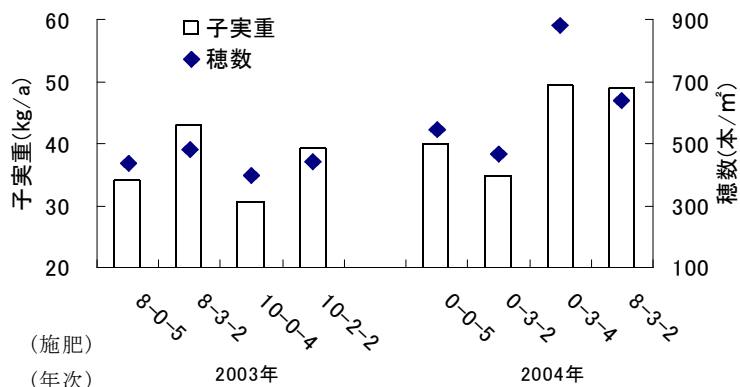
[成果の内容・特徴]

1. 収量に対する施肥量の影響は、基肥より分けつ肥及び穂肥の影響が大きい（図1）。
2. 収量と穂数、収量と稈長及び稈長と穂数には高い正の相関がある（表、図2）。
3. 穂数を概ね580本/㎡以上確保することで400kg/10a以上の収量が期待できる（図2）。

[成果の活用面・留意点]

1. 地域改善技術作成の上での参考となる。
2. 穂数を増加させるための極端な多肥栽培は、倒伏や遅穂の増加及び品質低下をまねく恐れがあるので避ける。

[具体的データ]



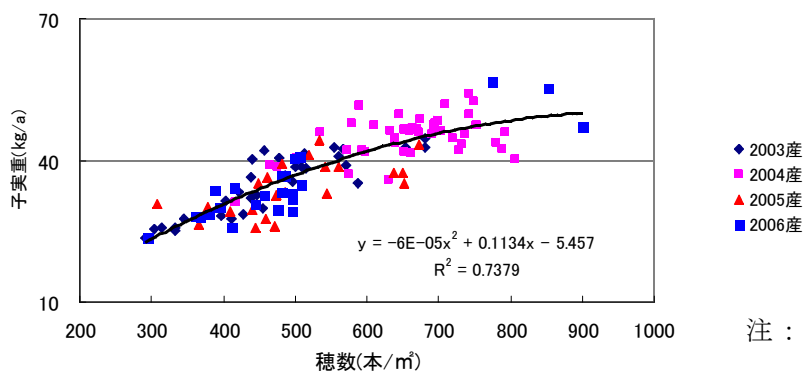
注 1)栽培法-畦幅150cm条間30cm
4条播
2)播種量は、7.5kg/10a
3)子実重は粒厚2.2mm以上
水分12.5%換算値
4)図の施肥の表示は、基肥-
分げつ肥-穂肥で、数字は
10a当たりの窒素量

図1 施肥量と収量・穂数

表 生育量・収量構成要素等の単相関係数

	穂長	穂数	千粒重	容積重	子実重
稈長	-0.492***	0.705***	-0.308***	0.089	0.712***
穂長	1	-0.576***	0.470***	-0.459***	-0.392***
穂数		1	-0.418***	0.400***	0.846***
千粒重			1	-0.456***	-0.140
容積重				1	0.236**

注1)2003年産～2006年産の播種時期、播種量、施肥量試験の値を使用
但し2005年産で幼穂凍死が多発したデータを除く(データ数:121)
また、容積重との相関は2004年～2006年の値を使用(データ数:88)
2)子実重は、粒厚2.5mm以上。水分12.5%換算値を使用
千粒重、容積重は、粒厚2.2mm以上で水分12.5%換算値を使用
3)**は1%水準、***は0.1%水準で有意



注：使用したデータは表と同じ

図2 子実重と穂数の関係

[その他]

研究課題名：特産焼酎加工用大麦の高品質・安定栽培技術の確立
予算区分：県単
研究期間：2002～2005年度
研究担当者：下山伸幸、石橋祐二、佐田利行